

和気町教育委員会

【開催年月日】 令和2年4月24日（金）

【召集の場所】 佐伯庁舎 町民室

午後4時開会

【出席者】 教育長 徳永 昭伸
委 員 有正 省三
委 員 齊木 孝
委 員 安藤 知春
委 員 國友 道一

【事務局出席者】 万代教育次長・国定学校教育課長

【付議した議案】

承認第 5 号 専決処分の承認を求めることについて

【その他】

- ・令和2年3月定例議会の報告
- ・令和2年度和気町教育委員会開催日程について
- ・コロナウイルス感染症対策について
- ・教科用図書採択協議会委員の選任について
- ・その他

審議の記録（一部要約）

開会時刻 午後4時開会

徳永教育長 開会挨拶につづき、議事録署名委員に有正委員と齊木委員を指名した。
3月3日以降の教育長諸般報告を行った。

【議事】

徳永教育長 承認第5号「専決処分の承認を求めることについて」事務局に説明を求めた。

万代教育次長 和気町会計年度任用職員制度の導入に伴う関係規則の整備に関する規則の承認について説明した。

徳永教育長 説明について意見・質問を求めたが特になく、全会一致で承認を得た。

【その他】

徳永教育長 その他について、事務局に説明を求めた。

万代教育次長 3月3日（火）～18日（水）に行われた令和2年3月定例議会の教育委員会関係の案件（「令和元年度を和気町一般会計補正予算（第4号）」・「和気町学校給食調理場等条例の一部を改正する条例について」・「令和2年度和気町一般会計予算について」・「一般質問」）について報告した。「一般質問」については自粛となっているが、3月10日の議会全員協議会の中で放射線副読本についての答弁があった。

徳永教育長 説明について意見・質問を求めた。

有正委員	補正予算について、GIGAスクール構想関連が入っていないが、まだタブレット等の配布をする事は出来ないのか。令和元年度の補正予算に組み込んで早期に購入・配布が出来れば、現在の臨時休校における在宅学習に利用できるのではないのか。
万代教育次長	今はまだGIGAスクール構想に向けて各民間企業がタブレット開発をしている段階で、購入商品・運用体制についてもまだ検討中である。和気町では令和2年度6月定例議会に補正予算として計上することを検討している。国の方針では校舎内ネットワークの整備は令和2年度中に、端末の配布は令和5年度までに行うことになっている。
國友委員	予算計上してもコロナの関係で購入自体は遅れるだろう。
有正委員	機器を整備するだけでなく、長期的プランが必要と思われるので、学校運営計画の中で、研修も含め対応をお願いしたい。
國定学校教育課長	現行のシステムや端末との兼ね合いを調整しながら、活用計画・研修計画を現在作成中である。
有正委員	佐伯共同調理場の件について、この度この結果となったのは大変残念である。
徳永教育長	否決後に佐伯地区の区長達と話をする機会を設け、混乱を掛けたお詫びと再度意見を伺った。佐伯地域から施設がなくなったら寂しいといわれた方が多かった。また、佐伯共同調理場の廃止によって学校の統廃合に繋がる可能性を懸念している声もあったが、そのようなことは無い旨を伝え、現在も調理委員の努力により安全な給食を提供しており、今後も安全を保ちながら調理場を活用していくと答えしている。修繕を行うかどうかは執行部とも相談をしながら考えていく。また、放射線副読本については、放射線に関する科学的な知識を身に付け理解を深めるために配布されたものであり、文部科学省が学校関係者や専門家の協力を得て作成されている。あくまで補助資料であり、どのように活用していくかは学校に一任されているものである。
徳永教育長	つづいて「令和2年度和気町教育委員会開催日程について」事務局より説明を求めた。
万代教育次長	令和2年度教育委員会の各月の日程について説明した。8月を除き、基本的に月末の木曜日を予定している。
徳永教育長	意見・質問を求めたが特になく、つづいて「コロナウイルス感染症対策について」事務局より説明を求めた。
万代教育次長	4月16日に発令された緊急事態宣言に伴って、4月17日からの和気町の小中学校・にこにこ園・屋内外施設・図書館・行事や会議等の対応を説明した。
國定学校教育課長	臨時休校中及び今後の小中学校の予定や学習対応・児童生徒の受け入れ状況・職員の服務等について説明した。
有正委員	新入生にとっては、年度初めは担任と生徒の人間関係を構築するのに大切な時期であり、この時期に休校となってしまうことは今後の人間関係の構築に大きく影響が出る可能性が有る。さらに、休校が続けば生活習慣にも影響が出てくることが懸念されるので、何らかの形で定期的なコミュニケーションを確保できないか。

また、家庭学習はその性質から復習が主になってしまうので、家庭に居ながら積極的な学習ができる体制を将来を見据えて整えて行くことを検討していただきたい。

- 国定学校教育課長 この時期は人間関係を築く上で、新入生のみならず全ての生徒・教育職員にとって大変大切な時期である。感染予防を考慮しながら学校を再開できないか模索中だったが緊急事態宣言の発令で難しい状況となってしまった。週1回程度の登校日を設けて、心身の健康確認等を行う予定である。
- 学習については、今後も休校が続くようならば、教科書・プリント等だけでなくインターネットの活用や教育テレビの番組を学習に組み込めないか検討している。
- 徳永教育長 自宅学習だと生徒によって家庭環境が様々で、学力の差がさらに広がるのが懸念される。和気町は中学生全員にIDが振られており、家庭にインターネット環境があれば自分のペースに合わせてオンライン学習ができるようになっている。オンライン学習を本格的に実施する場合は、インターネット環境の無い家庭にはタブレットやポケットWi-Fiの貸し出し等の対応を考えている。しかしながら、一人学習になり、子どもの意欲度合いにより格差が生まれやすいのも事実である。
- 有正委員 普段の学校授業の中で、その事を見据えた学習態勢をとることも必要である。
- 徳永教育長 学習態勢の見直しをはじめ、多くの変革が必要となってくると感じている。
- 國友委員 基本的な生活習慣が乱れることが懸念される。また、学力格差も大きくなるのでは。生活や家庭環境を把握するために家庭訪問等に行っていないのか。
- 徳永教育長 行っている。必ず複数回行うように依頼しているが、この度は5日間の休校なので、1回程度訪問する予定となっている。また、登校日も1日設けている。
- 国定学校教育課長 家庭訪問は接触を減らすという観点からはあまり望ましい対応ではないので、今後継続するかは未定である。中学校では取り出し指導として学校へ呼び学習指導を行っている。学習や生活に対して特に支援が必要な生徒に対しては体調面を配慮した上で個別対応を行っている。
- 徳永教育長 さらに休校が続く場合は、夏季休暇中に授業を行うことも視野に入れなければならない。
- 國友委員 夏季休業中に授業を行う場合、小中学校はエアコンが整備はされているのか。
- 徳永教育長 全ての小中学校に設置してある。しかし、新型コロナウイルス対策のため定期的な換気をしなければならないので、生徒の体調管理や経費の面でも夏季休業中の授業はなるべく避けたいと考えている。
- 和気町ではまだ感染者は出ていないが、他の市町村から来ている教育職員も多いため、保護者からは再開を心配する声も上がっている。再開する場合は感染対策をしっかりと講じ、生徒が安心して通学できるよう努めていきたい。
- 徳永教育長 つづいて、「教科用図書採択協議会委員の選任について」事務局より説明を求めた。
- 万代教育次長 順番により、この度は安藤委員にお願いしたい。
- 安藤委員 分かりました。
- 徳永教育長 つづいて、その他「令和2年度教育委員会関係職員人事異動」について事務局よ

万代教育次長	り説明を求めた。 この度の異動で、園長が2名定年退職し副園長が園長に就任したが、待機児童対策のため保育教諭の人員確保の観点から制度を変更し、新たに副園長の配置はしておらず、令和2年度からは事務補助員を配置している。 また、人権啓発推進事業の担当部署がサエスタから中央公民館へ変更となった。担当は変わらず社会教育課である。
徳永教育長	つづいて、その他「和気閑谷高校の魅力化への支援」について説明をした。 今年度は12名の枠の内、県外より8名の生徒を迎えている。今後も積極的に県外から生徒を迎えるにあたって住居環境の整備が課題となっており、和気町としてはスポーツを主とした生徒が大半のため、運動ができる場があると良いのではと考え、旧日笠小学校を寮に改築して和気閑谷高校に貸し出すことを提案している。和気閑谷高校は他の場所にも候補地を持っており、場所については確定していない。寮を建設する場合は3億円程かかる見込みで、財源については企業版ふるさと納税制度の活用も検討している。 高等学校の無償化で、私立学校などへも行きやすくなり、今後の入学者数にも影響が出ることが予想されているため、和気閑谷高校の繁栄のためにも魅力化を積極的に支援していきたいと考えている。
徳永教育長	報告について意見・質問を求めたが、特になし。
万代教育次長	次回教育委員会の開催を5月29日（金）午前10時から開会とした。
徳永教育長	閉会あいさつにて散会。

閉会時刻 午後5時10分

議事録署名

委	員	有正 省三
委	員	齊木 孝
教	育	次 長 万代 明